第 10 回（令和 5 年度第 3 回）タウンミーティングの概要

１　団体名　　久保島第一自治会・第二自治会
　　代表者　　久保島第一自治会長　篠塚正行

２　開催日等
（１）開催日　令和 5 年 11 月 26 日（日）
（２）会　場　久保島自治会館
（３）テーマ　久保島地区の交通安全・防災・防犯対策等について

３　意見交換の概要
※ [　　] 内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

市民　久保島地区の通学路の整備について伺います。
　玉井堰幹線用水路からＪＲ高崎線までの通学路歩道整備については、令和 4 年度から事業着手され測量等も行われました。今の進捗状況と整備が完了する時期を伺いたいと思います。

市長　通学路の整備は令和 4 年から動き出しました。
　今年度は、詳細設計と併せて、道路用地の測量等を進めています。
　令和 6 年度は、ＪＲ高崎線踏切からローソンの交差点付近まで工事を実施する予定で、工事に着手する前には、地元説明会を開催したいと思っています。
　令和 7 年度を目標に動いています。

市民　幹線第 3 号線「さくら運動公園通り」の安全対策について伺います。
　さくら運動公園通りが開通して便利になりましたが、交通量が増え、車がスピードを出して通過するようになりました。信号機がない距離が長いからとも思っていますが、その安全対策を伺います。
　また、（有）篠塚建材のところに信号機の設置を要望しています。道路管理者として市からも警察に要望してほしいと思います。

市長　信号機などの設置は警察の担当ですので、市は直接できません。警察には通学路であることも伝えましたが、歩行者数が少ないので信号機の設置はできないというのが現時点での回答です。
　市としては、オレンジ色のラバーポールをコーナーの入口などに設置したり、道路を赤く塗って注意喚起することなどさせていただきたいと思います。
　地域の皆さんから上がった要望を警察に届けることは継続していきます。

（維持課） 追加の速度抑制対策として、凸凹舗装（赤色）やラバーポール設置等の対策が考えられますが、凸凹による騒音の発生やラバーポールにより民地への出入りに支障が生じる場合がありますので、沿線住民の方の同意（署名）を添えての要望（要望書）をお願いします。

市民　私は、玉井小学校の児童が登下校をする際に見守りの活動をしています。

久保島の子どもたちは踏切を越えて国道 17 号の歩道橋を渡って学校に行くのですが、日本オイルポンプ（株）の先から道が狭くなります。そこまでは子どもたちが 2、3 列になって話しながら来ます。狭くなるので、一列で進まなければならなくなりますが、子どもなので難しい。少し車道にはみ出してしまい危ないので歩道と車道の間にラバーポールを立てて注意喚起してほしいのです。一日中立てておくと車の通行の邪魔になるので、小学生が登校する時間帯だけ立てて、それ以外の時間は外せるような構造にしてはどうかなと思います。

もう 1 点危ないのは、高柳交差点のところです。信号待ちの車が数珠繋ぎになると、車が左側によって子どもたちが歩くスペースが狭くなってしまい、大きめの手荷物を持って子どもが横歩きする姿を見たことありますし、夏の暑い日や、雨の日は傘をさしますけれども、通るスペースよりも傘の方が幅が広いので、傘と車が接触しないか心配です。

昔からの道を、現代社会の交通事情に合うような道路に変えていく事業は大変だと思います。100ｍほどの区間を全部、歩道をつけてほしいのですが、20 年 30 年先の話になってしまうかもしれないので、信号の手前のホンダカーズのところだけでも縁石付きの歩道ができれば、交通安全が格段に改善されると思います。

市長　ラバーポールと金属製の引き上げ式どちらがいいですかね。引き上げ式の方は、接触すると車にも傷がつきますし、誰が上げ下げするかという問題もあります。常設になりますがラバーポールであればその手間がいりません。この道は注意して走るんだという意識づけにもなろうかと思います。

まずは通学路の、安全確保のためのポールについては、ラバーポールはいかがかなと思っています。改めて御相談をさせていただきながら、対応はさせていただきたいと思います。

高柳交差点手前の、道沿いの皆さん方の御理解がいただけるようであれば説明会と合わせて、用地の買収も含めて考えさせていただきたいと思います。

ラバーポールについては、改めてまた御相談をさせていただきながら、対応させていただきたいと思います。

（維持課）ラバーポールの設置については、民地への出入りに支障を生じる場合がありますので、再度現地を確認し、設置可能な箇所を検討させていただきます。

市民　カーブミラーの修理の依頼先についてお伺いします。

　カーブミラーについては、熊谷市、交通安全協会、開発業者などで設置しているそうですが、修理等をお願いする場合の連絡先を一本化できませんか。

市長　現在では交通安全協会が設置するカーブミラーはなく、ほぼ、市でカーブミラーを設置しています。

建設部長　基本的にカーブミラーは設置後、市に帰属し市が管理することになりますので、角度調節なども市で対応します。維持課が窓口になります。

市民　カーブミラーは、要望するとどのくらいの期間で設置してもらえますか。

建設部長　現場を見て判断させていただきます。

市民　久保島地区内に限らず、休耕田畑が増えていると思いますが、冬になると枯れて、火災が発生する危険もあります。市では何か対応等ありますか。

市長　それぞれの田畑には所有者がいますので、市が勝手に草刈りできません。隣が田畑で、草が家の近くまで繁っているような場合には、市に連絡いただければ、土地の所有者に、「こういう状況だから草刈りをしてください。」ということは伝えます。

（農業委員会）土地所有者に対して、文書による指導を行い、草刈り等の対応をお願いするとともに、一定の条件を満たした場合、その費用の一部を補助しています。

市民　防災について伺います。

　久保島地区は、第一避難所が玉井小学校、第二避難所が玉井中学校です。久保島は非常に広く、自治会館から小学校まで 2 キロメートル近くあり、大雨や台風のとき、特に夜間に避難ができるかどうか不安です。4 年前の台風 19 号のときに初めて避難所が開設され、多くの人が避難しました。避難が困難な方から自治会館に避難させてもらえないかという声もありました。

　地元として事前の準備や対策をどのようにしたらいいでしょうか。

市長　まず、避難所は指定された場所だけでなく、どこにでも避難することができます。その上で久保島の皆さんに申し上げたいのは、防災ハザードマップを見ると、久保島自治会館付近は 50 センチまでというエリアです。全く水が上がらないところもあります。

　ですから、久保島の皆さんにまず申し上げたいのは、動かないでください。動いた方が危険があります。久保島の人が玉井小学校に行こうとすると、水が深いところを通って行くことになり、かえって危険です。早いタイミングでま

だ水が出ないうちに行くのはいいのです。水が出てから行くのであれば大麻生の小中学校。それから県立の高校とも提携もしていますので、熊谷工業高校についても避難は可能だと思います。避難をされる場合には、市ホームページ等で避難所の開設状況を確認してから移動してください。

（危機管理課） 熊谷市公式 LINE アプリ「クマぶら」に、避難所等を表示したデジタルマップを導入済みです。また、災害時の浸水想定を確認する方法として、PDF版のハザードマップと、GIS版のハザードマップの2種類を「クマぶら」に掲載しています。

市民　学校給食で使う食器の改善について伺います。

　他市では、早いところでは 30 年ほど前から家庭で使うような陶磁器に似た食器を学校給食に使っているところもあります。おかずを盛る皿、汁物用の器、ご飯用の器、最低三つの食器を使って給食を食べています。

　熊谷市の今後の見通しも含めて状況を教えてください。

市長　給食に求められるものに、栄養、安全、食育があります。今のところ小学1年生だけですが、今年の 4 月からご飯用のカップを使っています。

　私の考えとすると、おかずのプレートは多少使うことになると思いますが、将来的にはご飯と汁物と分けたいと思っています。

　今の学校給食センターは食洗機がご飯用の茶碗に対応していませんが、現在計画中の新学校給食センターは、食品の衛生管理を含めて対応できるようにします。

市民　県営住宅熊谷玉井住宅の東側に余計堀という水路がありますが、宅地化が進み農業での利用がされていません。篠や雑草などが繁茂し地元で草刈等していますが、市に移管できればと思っています。ふれあいセンターの裏からの国道まではひどいのです。

市長　大里用水土地改良区と相談しながら、使用しなくなった水路は、市に移管していく方向です。

建設部長　余計堀についても、農業者が利用しないのであれば、大里用水土地改良区と協議していきますが、草刈りについては「多面的機能支払交付金」を活用して委託等もできます。

（河川課） 余計堀の市への管理移管については大里用水土地改良区と現在調整中ですが、時期は未定です。

市民　熊谷衛生センターへのごみの搬入について伺います。

　現在、ごみの搬入が可能なのは、平日と祝日ですが、土曜日１回でも、搬入できると非常にありがたいのですが。

市長　熊谷衛生センターについては、建替えの計画が始まっており、現敷地内に建替える予定となっています。別府荘に代わる新たな施設も準備しています。

土曜日の搬入については、大里広域市町村圏組合の施設であることや運転管理を委託している関係もありますので後日の回答とさせてください。

（**環境推進課**）大里広域市町村圏組合が運営する熊谷衛生センターは、構成市町である熊谷市、深谷市、寄居町の巡回収集日に合わせて営業しています。現状では土日の巡回収集の予定はなく、土曜日に搬入を行う場合、施設維持管理委託金額の上昇や大里広域市町村圏組合職員の増員等の課題があることから、構成市町との検討など、新熊谷衛生センターの稼働までに方針を出したいと考えています。

市民　小学生は通学時に黄色い帽子や旗、黄色い傘などを身に着けています。目立つように黄色いウインドブレーカーを着て通学させたらどうでしょうか。

市長　子どもたちの安全のためのアイデアをありがとうございます。

黄色い傘は日よけや雨を防ぐだけでなく、コロナ禍において人との距離を保つこともできました。

ウインドブレーカーについては、一年を通して使えるかとか、ベストにするとランドセルの後ろから見えにくいなどの課題があると思います。

（**安心安全課**）いただいた御意見を参考に、子どもたちへの啓発品を検討してまいります。